

農林水産統計調査の効率化に向けた地球観測衛星データの利活用について

農林水産省と宇宙航空研究開発機構との「農林水産分野における地球観測衛星データ等の利用の推進に関する協定」(令和元年 10 月 1 日締結)のもとで実施する地球観測衛星データ利用計画について、当該基本協定書第3条に基づき、データの利用、役割分担等についての細則を次のとおり定める。

1. 協定名	農林水産分野における地球観測衛星データ等の利用の推進に関する協定	
2. 担当部署	【農林水産省】 大臣官房統計部統計企画管理官 【JAXA】 第一宇宙技術部門 衛星運用利用センター	
3. データの利用概要	衛星データを利用した水稻調査の作柄予測手法の改善の検討及び筆ポリゴンデータの付加価値向上に GCOM-C を始めとする地球観測衛星データを利用。また、画像解析による農地の区画ごとの作付状況の把握手法及び人工知能(AI)を活用した筆ポリゴン変化抽出手法への活用可能性の検討に 2020 年度打上げ予定の ALOS-3 データを利用。	
4. 期待される成果	各種地球観測衛星データを活用することにより、農林水産統計調査の効率化に向け、統計部が行っている事業における各手法等の確立及び改善に資する。	
5. 役割分担	【農林水産省】 ・GCOM-C を始めとする地球観測衛星データの活用の検討・実証 ・2020 年度打上げ予定の ALOS-3 の活用可能性の検討・実証 【宇宙航空研究開発機構】 ・GCOM-C を始めとする地球観測衛星データの提供 ・2020 年度打上げ予定の ALOS-3 の実費協定に基づくデータ提供 ・上記データ活用に向けた技術支援及び助言	
6. 期間	農林水産分野における地球観測衛星データ等の利用の推進に関する協定と同期間	
7. 実利用実証	ALOS-3 実利用実証期間及び無償データ提供希望数：別途協議	
8. 年度利用データ量	GCOM-C 等：水稻調査の作柄予測手法の改善の検討及び筆ポリゴンデータの付加価値向上に利用可能な GCOM-C などの衛星プロダクト(土壌水分、植生指数等)の全量	
9. データ提供方法	GCOM-C:	G-Portalからの提供
	ALOS-3:	ALOS-3 データ提供システム(仮称)からの提供(予定)
10. 成果報告書の提出	☒ 可 / 否	
	可の場合(提出時期)：毎年度末	否の場合(提出できない理由)
11. 農林水産省 担当者		
担当者名	電話	E-mail
主) 川船 功	03-3502-5631	██████████@maff.go.jp
副) 山下 直樹	03-3502-5631	██████████@maff.go.jp
12. JAXA 担当者		
担当者名	電話	E-mail
主) ██████████	██████████	██████████@jaxa.jp
副) ██████████	██████████	██████████@jaxa.jp

農林水産省 大臣官房統計部統計企画管理官

宇宙航空研究開発機構 衛星利用運用センター長

日付：令和 2 年 4 月 1 日

日付：令和 2 年 4 月 1 日